



平成30年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月11日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	10,404	7.5	71		10		216	
29年2月期第3四半期	11,244	2.1	253	688.7	300	359.7	139	

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 217百万円 (%) 29年2月期第3四半期 147百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	81.31	
29年2月期第3四半期	52.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	5,343	1,322	23.9	480.73
29年2月期	5,697	1,452	25.0	535.91

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 1,279百万円 29年2月期 1,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 2月期の連結業績予想(平成29年 3月 1日～平成30年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,065	5.7	149	50.3	216	40.0	95	52.2	35.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	2,660,900 株	29年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	30年2月期3Q	145 株	29年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	2,660,755 株	29年2月期3Q	2,660,769 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな景気回復基調にあるものの、米国の政策方針や東アジアにおける政情不安による影響などから、先行き不透明な状態が続いています。国内の個人消費には持ち直しの動きが見られるものの、外食に対する低価格志向は依然として根強く継続しています。

外食産業においては、食材価格の高騰、人材不足や人材関連コストの上昇、消費者の節約志向やライフスタイルの変化などの影響から、業界内の環境は厳しさを増す状況にあります。このような状況の下、当社グループは、既存店の販売強化、店舗管理体制の見直し、全社的なコストの見直しを推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、継続的なXEXグループのウェディング売上の減少に加えて、カジュアルレストラングループにおけるイートイン業態での来客数の減少等により既存店の売上が低調に推移した影響から、売上高は10,404百万円（前年同期比7.5%減少）、営業損失は71百万円（前年同期は営業利益253百万円）、経常損失は10百万円（前年同期は経常利益300百万円）となりました。なお、減損損失81百万円、関係会社清算損68百万円、法人税等調整額22百万円の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は216百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益139百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、継続的な販売強化の推進により一般営業の売上は堅調に推移したものの、プライダル営業体制を移行した効果の伸び悩みが続いたことから、レストランウェディングの件数および売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,279百万円（前年同期比4.1%減少）、営業利益は116百万円（同50.3%減少）となりました。なお、店舗数は直営店9店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、国内において新たな出店はなく、既存店のサービスと料理の品質向上および人材育成に注力してまいりました。平成29年6月に、FC店「SALVATORE CUOMO & BAR 金沢片町」を、同年10月に「SALVATORE CUOMO & BAR 天神」を直営店舗化しました。韓国においては新規出店を進め、平成29年7月には京畿道龍仁市に、FC店として「SALVATORE CUOMO 新世界京畿」を、同年8月には京畿道高陽市に「PIZZA SALVATORE CUOMO スターフィールド高陽」、同年9月に「PIZZA SALVATORE CUOMO アラリオギャラリー天安」、同年10月には「PIZZA SALVATORE CUOMO 明洞」を出店いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は7,118百万円（前年同期比8.9%減少）、営業利益は646百万円（同21.1%減少）となりました。また、店舗数は直営店45店舗、FC店48店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は5百万円（前年同期比9.1%増加）、営業損失は11百万円（前年同期比646.1%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,549百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円減少いたしました。これは主として、現金及び預金の減少203百万円、売掛金の増加26百万円、繰延税金資産の減少20百万円等によるものです。固定資産は2,794百万円となり、前連結会計年度末に比べ148百万円減少いたしました。これは主として、建物及び構築物の減少129百万円、工具器具備品の減少34百万円、のれんの減少32百万円、敷金及び保証金の増加27百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,343百万円となり、前連結会計年度末に比べ354百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ162百万円減少いたしました。これは主として、短期借入金の増加41百万円、未払金の増加20百万円、未払法人税等の減少131百万円、株主優待引当金の減少17百万円等によるものです。固定負債は1,763百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金の減少4百万円、長期前受収益の減少44百万円、その他の減少10百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,020百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,322百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円減少いたしました。これは主として、親会社に帰属する四半期純損失の計上216百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は23.9%（前連結会計年度末は25.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月12日の「平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,528	1,414,395
売掛金	621,575	648,120
原材料及び貯蔵品	217,725	209,066
繰延税金資産	111,375	91,057
その他	186,805	186,899
貸倒引当金	△512	△533
流動資産合計	2,754,497	2,549,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,732,926	1,603,126
工具、器具及び備品(純額)	212,402	177,812
リース資産(純額)	59,102	59,538
建設仮勘定	2,944	10,902
その他(純額)	5,789	24,876
有形固定資産合計	2,013,166	1,876,256
無形固定資産		
のれん	139,189	107,068
その他	39,167	34,253
無形固定資産合計	178,356	141,322
投資その他の資産		
投資有価証券	422	459
長期貸付金	8,262	10,060
敷金及び保証金	600,637	628,007
繰延税金資産	144,687	142,274
その他	15,280	13,451
貸倒引当金	△17,818	△17,467
投資その他の資産合計	751,472	776,786
固定資産合計	2,942,995	2,794,364
資産合計	5,697,493	5,343,369
負債の部		
流動負債		
買掛金	668,785	674,139
短期借入金	548,268	590,056
未払金	637,604	657,969
未払法人税等	131,440	—
ポイント引当金	24,355	25,177
株主優待引当金	57,825	40,265
その他	351,725	269,751
流動負債合計	2,420,004	2,257,360
固定負債		
長期借入金	1,058,218	1,053,334
資産除去債務	474,853	473,566
長期前受収益	129,150	84,870
その他	162,553	151,660
固定負債合計	1,824,775	1,763,431
負債合計	4,244,780	4,020,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△160,392	△376,740
自己株式	△362	△362
株主資本合計	1,568,303	1,351,955

その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	123
為替換算調整勘定	△142,479	△72,966
その他の包括利益累計額合計	△142,384	△72,843
新株予約権	21,757	31,431
非支配株主持分	5,035	12,033
純資産合計	1,452,712	1,322,578
負債純資産合計	5,697,493	5,343,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	11,244,356	10,404,046
売上原価	9,233,897	8,634,576
売上総利益	2,010,459	1,769,470
販売費及び一般管理費	1,757,195	1,841,281
営業利益又は営業損失(△)	253,264	△71,811
営業外収益		
受取利息	148	161
協賛金収入	57,140	64,060
その他	19,727	17,968
営業外収益合計	77,016	82,189
営業外費用		
支払利息	20,051	15,862
為替差損	4,450	2,115
その他	5,435	2,576
営業外費用合計	29,937	20,554
経常利益又は経常損失(△)	300,343	△10,175
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,668
特別利益合計	—	2,668
特別損失		
減損損失	73,739	81,410
関係会社清算損	—	68,785
特別損失合計	73,739	150,195
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	226,603	△157,703
法人税、住民税及び事業税	170,710	38,696
法人税等調整額	△83,713	22,722
法人税等合計	86,997	61,418
四半期純利益又は四半期純損失(△)	139,606	△219,121
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2,773
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	139,606	△216,348

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	139,606	△219,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	28
為替換算調整勘定	7,636	1,941
その他の包括利益合計	7,698	1,969
四半期包括利益	147,304	△217,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,304	△214,349
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2,801

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,421,146	7,817,832	11,238,979	5,377	11,244,356	-	11,244,356
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	251,710	251,710	△251,710	-
計	3,421,146	7,817,832	11,238,979	257,088	11,496,067	△251,710	11,244,356
セグメント利益 又は損失(△)	233,855	819,483	1,053,339	2,069	1,055,408	△802,144	253,264

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△802,144千円には、セグメント間取引消去額1,250千円、各セグメントに配分していない全社費用△803,394千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて73,739千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,279,987	7,118,194	10,398,181	5,865	10,404,046	—	10,404,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,150	299	7,449	242,814	250,264	△250,264	—
計	3,287,137	7,118,493	10,405,630	248,679	10,654,310	△250,264	10,404,046
セグメント利益 又は損失(△)	116,169	646,524	762,694	△11,299	751,394	△823,205	△71,811

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△823,205千円には、セグメント間取引消去額1,850千円、各セグメントに配分していない全社費用△825,055千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「XEXグループ」セグメントにおいて47,706千円、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて33,704千円の減損損失を計上しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。